

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所あつぷる（児童発達支援事業）		
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 10日		～ 令和 7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 10日		～ 令和 7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のニーズに合わせた対応ができる。	発達段階に合わせてトランジションエリアにてスケジュール提示を行っている。	余暇の場面で欲しい物やしたいことを伝えられるように発達段階に合わせて要求カードの追加も行っていく。
2	親子通所ができる。	子どもの様子を共有し伝えることで、保護者と信頼関係を築き安心して通所できるように関わっている。	保護者の子育てに対する悩みを少しでも解消できるように、話しやすい雰囲気の中で、これまで以上に相談・助言を行う。
3	支援内容が充実している。	子どもの状態や能力に合わせ、興味の引く課題提供を行い、安心や自信に繋げるとともに、成功体験を積み重ねることで自己肯定感を高められる関わりを行っている。	保育所や他機関との連携を強化し、子どもの現状をしっかりとアセスメントするとともに、関係機関と支援の足並みを揃えられるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	取り組んでいることでも保護者に伝わっていないことがある。	発信の内容や機会が定まっていない。連絡帳を活用しているが、利用者支援を同時に行っている関係で記載漏れがあるのではないかな。	利用者支援と情報発信が明確となるように、ICTの導入を検討したり、保護者お便りの中でより詳しい活動や環境の写真の掲載、内容の充実を図っていく。パンフレットの内容の見直しも行う。
2			
3			